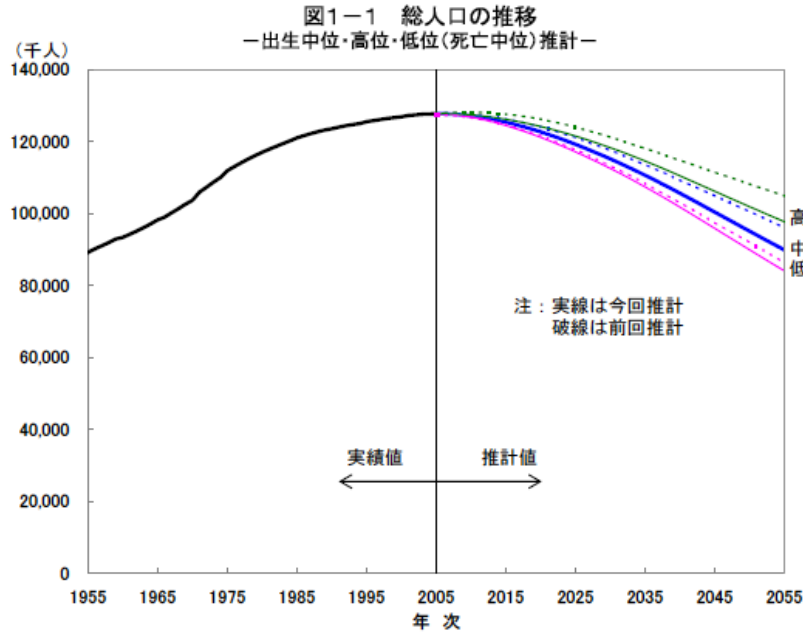


高齢社会対策の基本的在り方等に関する検討会・追加資料

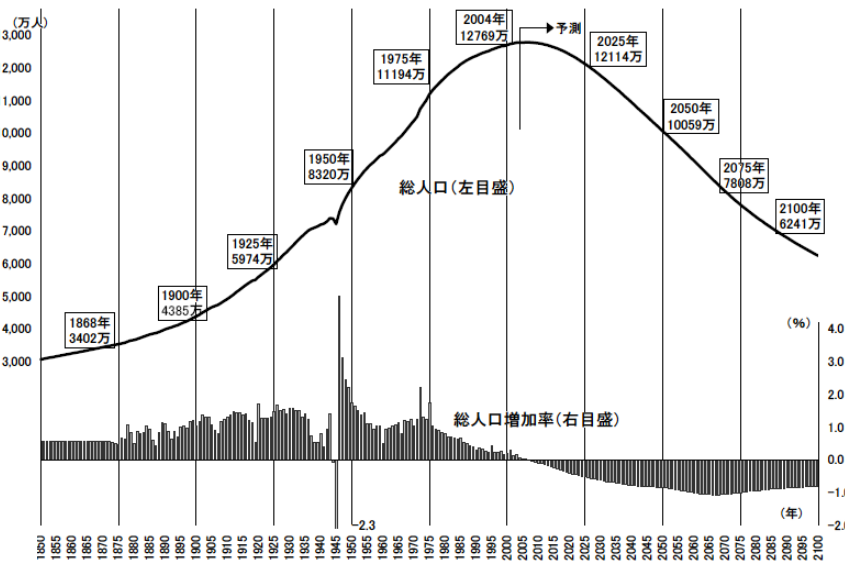
2011/10/21 横浜国立大学 関 ふ佐子

◆ 総人口の推移



国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成 18 年 12 月推計)

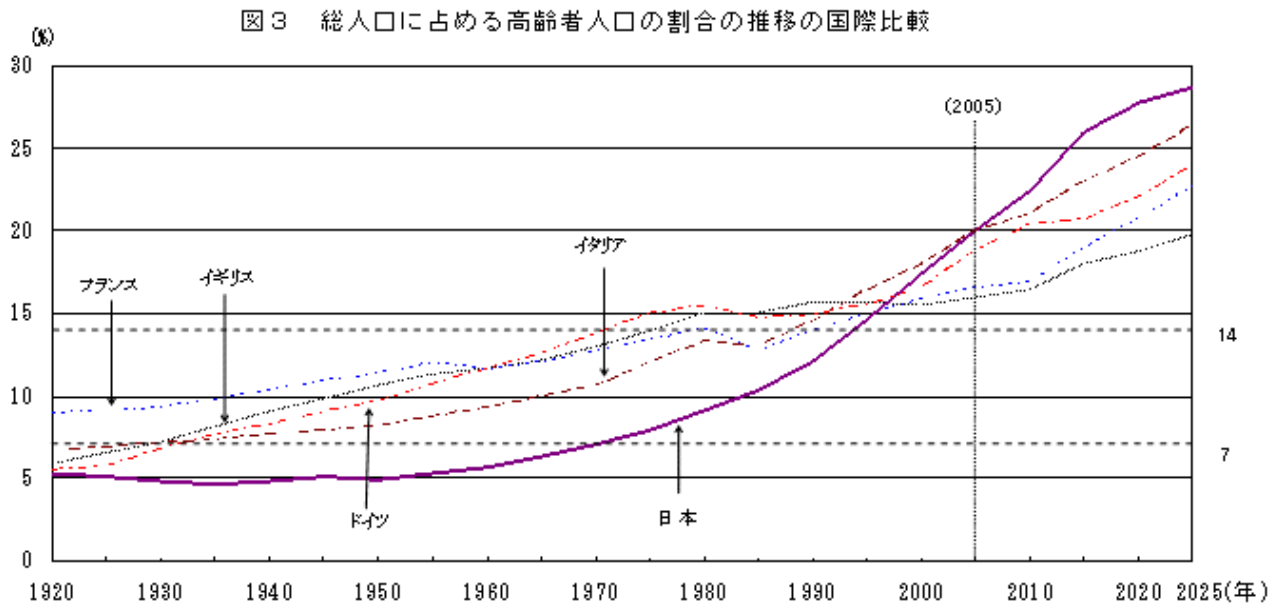
◆ 総人口の長期的推移



(出所) 総務省「国勢調査」「各年 10 月 1 日推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(2002 年中位推計)、森田優三『人口増加の分析』(国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」所収)
 (注) 社会保障・人口問題研究所は 2051 年以降について、同じ中位推計でも出生率の仮定の異なる以下の 4 種の予測を行っている。
 ①参考推計 …合計特殊出生率が 2150 年に向け 2.07-人口維持に必要なレベルに回復
 ②参考推計 A …合計特殊出生率が 2050 年時点の 1.39 で一定
 ③参考推計 B …合計特殊出生率が 2100 年に向け 2.07 に回復
 ④参考推計 C …合計特殊出生率が 2051 年から 2.07 に回復
 ここでは出生率の回復を前提としない②参考推計 A を用いた。

出典：須藤一紀「ピークが迫る日本の人口 — よくわかる日本の人口①【総人口の推移と人口転換】 —」第一生命経済研レポート (2005 年)

◆ 65歳以上人口割合の国際比較

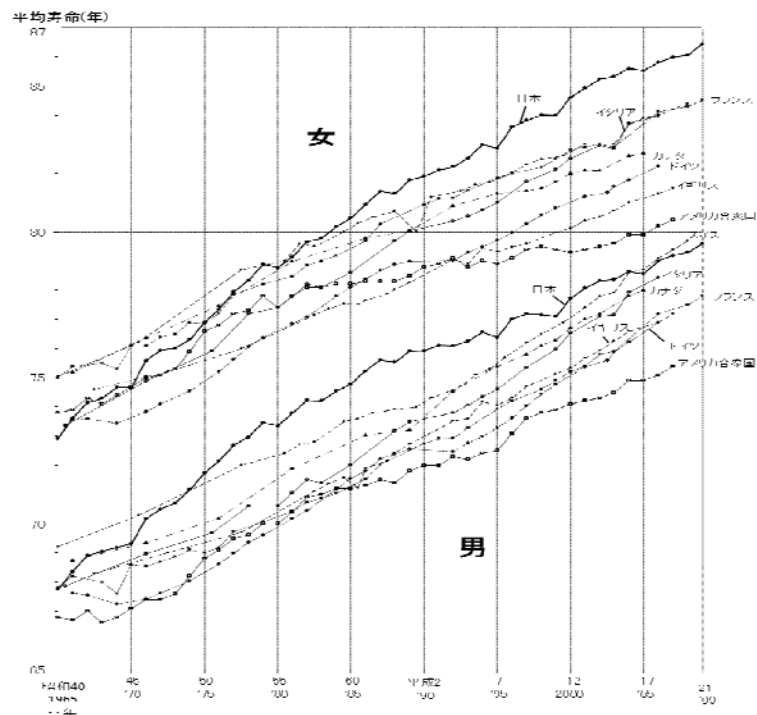


資料：日本－「国勢調査」、「日本の将来推計人口－平成14年1月推計」中位推計（国立社会保障・人口問題研究所）
 その他－各国の統計年鑑及び国連資料「World Population Prospects(2004)」

統計庁「統計トピック No. 14(平成17年9月)」<<http://www.stat.go.jp/data/topics/topi141.htm>>

◆ 平均寿命の国際比較

第1-3図 諸外国の平均寿命の年次推移



出典：厚生労働省統計表データベースシステム「平成22年度厚生統計要覧 第1編第2章人口動態」<http://www.mhlw.go.jp/toukei/youran/indexyk_1_2.html>

◆ 高齢化の速度

- ・ 高齢化社会—— 高齢化率7%以上
- ・ 高齢社会—— 高齢化率14%以上
- ・ 高齢化の速度—— 7%から14%
 - ドイツ（40年）
 - イギリス（47年）
 - イタリア（61年）
 - スウェーデン（85年）
 - フランス（115年）
 - 日本（24年）

◆ 従属人口指数

- 老年従属人口指数（老年人口指数）（老年人口を生産年齢人口で除した値）
 - ① 生産年齢人口を15～64歳とした場合 ② 生産年齢人口を20～69歳とした場合
 - ・ 2011年：① 35.6%（働き手2.8人で高齢者1人扶養） ② 25.6%
 - ・ 2020年：① 46.4%（2.1人で1人を扶養） ② 34.7%
 - ・ 2055年：① 66.5%（1.5人で1人を扶養） ② 50.9%
- 年少従属人口指数（年少人口を生産年齢人口で除した値）
 - ・ 2011年：① 20.8%（働き手4.8人で年少者1人扶養） ② 27.6%
 - ・ 今後16～20%の水準の範囲で推移

◆ 平均寿命の伸び

- ・ 1947年—— 男性（50.06歳） 女性（53.96歳）
- ・ 2010年—— 男性（79.64歳） 女性（86.39歳）

63年で男性29.58歳、女性32.43歳 も平均寿命が伸びた

◆ 高齢社会対策を推進するうえで重要な視点・事項

- 高齢者は「65歳以上」という認識の変更
 - ・ 意識改革の推進
- 長寿社会にあった生き方・働き方を可能とする社会設計
 - ・ 多様なライフスタイルを可能にする視点
 - ・ 格差を是正する視点
- 最後の10年は安心した老後を
 - ・ 「お疲れ様」に向けた人生設計